

1.23青年部長会議

「63.3」粉砕・年休動員・スト体制に3・27三里塚へ

国鉄「分割・民営化」反対/三里塚二期工事阻止!

一月二十三日、千葉市民会館において、第一回青年部長会議が開催された。各支部より青年部長と傍聴者、三十名の参加のもと、一月三月の焦点である「六三・三ダイ改」絶対反対にむけた闘いと、三・二七三里塚総力結集の闘いの方向性について議論を深めた。

大衆出向―首切りの突破口として
「六三・三ダイ改」絶対反対!
三・二七三里塚へ!

会議は佐藤副青年部長の司会のもと進められた。杉本青年部長あいさつに続いて、本部を代表して田中執行委員よりあいさつをうけた。「動労千葉は、この二度の大会で組織財政基盤確立の方針を固めた。動労千葉は、分割・民営化に反対して真正面から闘った。その結果一方では、解雇され、清算事業団に送られ、強制配転させられた。しかし、勝利するためには、血を流すことをいとわなかったから、現在の団結がある。今再び、状況は、動労千葉の決起を求めている。敵の攻撃はうまくいかないが故に、この一二年もつと悪らつな攻撃をかけようとしている。「東日本六万人体制」とは、四人に一人の首切りだ。今やっている仕事をまるごと小会社化して出向―首切りしようというのだ。各支部の若い執行部を先頭に、我々は闘いを一からつくりあげよう。新しい闘いにむけ、①「いすみ鉄道支部」を結成し、②無人駅担当を解消させた。絶対に勝ちぬく。とりわけ、青年部は、三・二七三里塚への根こそぎの総決起体制をつくりあげてもらいたい。年休を含め、五割動員、日勤者は全員参加、このような動員が実現できたとき、それは必ず新たな闘いの勝利の展望・力関係をづくりあげるものとなる。全力で決起しよう。

各支部からの闘いの報告

提起をうけて「労働強化でシワ寄せが全て現場にきている。人がたりない、清算事業団から即ち採用すべきだ」「このダイ改に何んとしても営業へ強制配転された仲間をローテーション化させたい」「国労へのオルグを積極的に行う」「ヨビを減らしているうえに、さらに減らそうとしている」「当局の乗務停止攻撃に屈せず運転保安の精神で闘っている」「検査部門の小会社化とはとんでもない。安全無視を許さず闘っていく」「バス取りあげに始まって貨物は関連・協力会社の寡意気がすでにある。同じレベルで仕事をしているのに差別化は許せない」「貨物は情報が少ないので各支部のニュースを送ってほしい」等、活発な討論が行われ、また、昨年末新たに青年部長になった新小岩・斉藤君、津田沼・高田君からあいさつをうけた。

分断 民営推進大キャンペーンと闘おう
三・二七三里塚へ年休・スト体制で総決起を!

常任委員会からの提起を杉本青年部長が行った。「『六三・三ダイ改』大キャンペーンの狙いは、新会社のイメージアップ!!新たな分割・民営化推進の大攻撃だ。分割・民営化して、赤字が解消されようとしているのか? 出向攻撃で、一企業一組合が成功したのか? 今、当局と革マル松崎は、分割・民営体制の破産のとりもどし策として『分割・民営してよかった』『これに反対するのは許せない』というイデオロギー攻撃に全労働者をまきこもうとしているのだ。我々は、本日を出発点にして『六三・三ダイ改』大合理化絶対反対の旗を鮮明にして闘いに起とう。
現在、炭鉱・鉄鋼・自動車など各企業で出向―首切りが問題になっている。昨年十月の株価大暴落から始まった大恐慌―大量失業の時代への突入

青年部は最先頭で「63.3」粉砕・3・27三里塚へ!

